

平成6年度 1学期終業式式辞

本日、1学期の終業式を大きな事故なく無事に迎えることができました。

1学期を振り返ってみると、さまざまな出来事や挑戦がありました。

学習面では、4月初め、新しいクラスや授業に戸惑いながらも次第に環境に慣れ、自分なりのペースで、学習に向き合えたのではないかと思います。

また、学業だけでなく、行事や部活動にも全力を注いできました。

北校祭では、みんなの持つエネルギーを知ることが出来ました。

部活動においても、総体で、ウエイトリフティングの山縣さんが大会新記録でインターハイ出場、水球部も男女ともに県総体優勝、男子バレー部ベスト8で近畿大会への切符を手にしました。

また、4月に行われた吹奏楽部による素晴らしい定期演奏会、NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会準決勝・決勝に駒を進めた放送部。その他様々な部活動で多くの人が力を発揮し、我々に挑戦することの素晴らしさを伝えてくれました。

挑戦について、こんな言葉を紹介したいと思います。

「われわれは月へ行くことを決めた。それが容易ではなく困難であるがゆえに。」

今から約60年前の1962年9月12日、ヒューストンのライス大学で演説した、ジョン・F・ケネディ大統領の有名な言葉です。

そして7年後の1969年に、アポロ11号が月面着陸を果たします。本校で言えば、大人形第1号が完成する1年前。

今でこそ、宇宙旅行は現実のものとなりつつあります。しかし、当時、月に行くことを誰が想像したでしょう。

挑戦することは簡単なことではありません。また、挑戦したからと言って、必ず成功するとも限りません。

しかし、困難に立ち向かうことでしか得られないものがあります。当然、失敗や挫折もあるでしょう。しかし、その経験は皆さんをさらに強くし、成長させる大切な糧でもあるわけです。

失敗を恐れず、常に前向きな気持ちで取り組んでいくことが重要です。

さて、明日から夏休みが始まります。

この期間を有意義に過ごすためには、計画的に時間を使うことが大切です。特に受験を控える3年生は！

1・2年生は、補習、部活動の毎日だろうと思いますが、趣味やリフレッシュの時間も大切にしてください。

皆さんが、健康で充実した夏休みを過ごし、2学期に元気な姿で再会できることを楽しみにしています。